

小山市立博物館 博物館だより

2019
3.15 68

祝 小山市制65周年記念 特別展 「甲冑と戦の意匠」 平成31(2019)年4月27日(土)～6月16日(日)

甲冑は、戦にのぞむさいの実用性が追究されているだけでなく、着用する武士の様々な意気込み・美意識をあらわす造形が施されています。それゆえに、甲冑は形としての美しさはもとより、秘められたおごそかな美しさがあり、数百年の時を超えてなお、見る人を魅了してやむことはありません。今回は、このような甲冑を長年にわたり研究・収集して来られた、本市ご出身の伊澤昭二氏の数あるコレクションを中心に、甲冑や戦にかかわる武具の数々を展示させていただきます。我が国古来の戦の意匠をとおして、昔日の面影と古人の思いを感じていただければ幸いです。



写真左「太閤桐紋白羅紗陣羽織」豊臣秀吉所用
中央「鳳凰金蒔絵二枚仏胴具足」織田信孝所用
右「煉革製黒漆塗日月軍配」北条氏康所用
(伊澤昭二氏蔵)

【休館日】 5/7(火)・13(月)・20(月)・24(金)・27(月)、6/3(月)・10(月)

【開館時間】 9時～17時(入館は16時30分まで)

【入場料】 大人200円(100円)、大高生100円(50円)、
中学生・義務教育学校生以下無料。()内は20名以上の団体料金。
平成31年4月以降の市立車屋美術館の半券で団体料金を適用。
※4/30～5/5、5/18(国際博物館の日)、6/15・16(栃木県民の日関連)は無料。

【関連事業】

●伊澤昭二氏によるギャラリートーク(申込不要、無料)

1回目5/5(日)、2回目6/16(日) 各日13時30分～15時

当館企画展示室 ※人数を制限させていただく場合があります。

●甲冑試着体験(要申込、先着順。無料。1組大人2名・子供3名まで)

1回目4/28(日)、2回目5/19(日) 各日下記の時間帯計5組

①13:00 ②13:30 ③14:00 ④14:30 ⑤15:00

申し込みは4/10(水)から電話で。(TEL 0285-45-5331)

2019年度 夏&秋季展示会予告

栃木県立博物館 地域移動博物館「恐竜」

7月20日(土)～9月1日(日)

ティラノサウルスやアンモナイト、一度は耳にしたことはありませんか。今から2億年以上も前の中生代三畳紀中期に出現し、長きにわたって繁栄を極め、約6600年前の白亜紀末に突如絶滅した生物「恐竜」。現在、夏休みに向け、恐竜展の準備を進めております。

小山に大集合の恐竜化石から太古の時代にタイムスリップしてみませんか。



エドモントサウルス頭骨標本
(栃木県立博物館蔵)

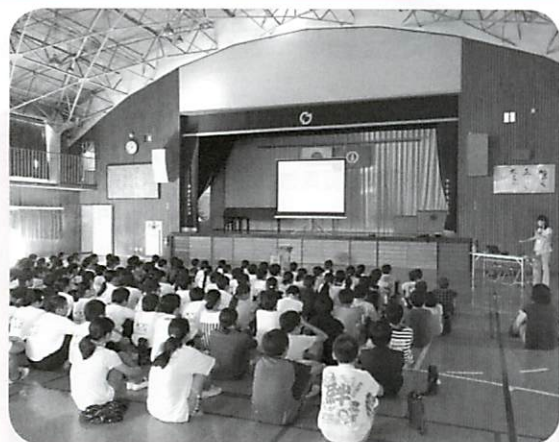
小山市立博物館第72回企画展「小山藩主 本多正純」

10月26日(土)～12月1日(日)

本多正純は、父正信とともに徳川家康に仕えた武将で、関ヶ原合戦前後より頭角をあらわし、駿府大御所政治においては随一の側近と言われました。江戸時代の草創期(1608年頃)に正純が小山に配され、江戸時代唯一の小山の大名となったのです。

本展示会では、小山藩主となった本多正純の実像に迫ります。

小山市内 13校・700人以上の6年生に実施



「修学旅行事前学習」

「どうして小山市の6年生は鎌倉に修学旅行に行くの？」こんな質問から始まる授業。すると6年生は、「有名だから。」「お寺がいっぱいあるから。」そんなふうにご答えてくれます。授業が進むにつれて小山と鎌倉のつながりを知り、終わりには、学びが深まった感想をいくつも聞かせてくれます。

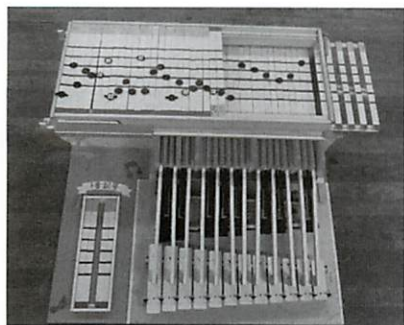
小山政光とその子供である朝政、宗政、朝光の3兄弟が鎌倉幕府樹立に貢献したこと、政光の妻である寒川尼が源頼朝の乳母であったことは、小山市民だけでなく歴史に興味がある方にご存知でしょう。でも6年生にとっては、「政光さんと寒川尼ちゃんは実在していたの!？」と目を丸くして驚くような事実であり、日本の歴史が小山の歴史としっかりと関わっているなんて、歴史好きでなくともうれしい事実でもあるのです。ただでさえ楽しみな修学旅行に行こうとしている子どもたちの心はますます高揚するばかり。学習意欲もぐんと高まっていく様子です。

博物館でこの出前授業が実施するようになってから数年。今では多くの学校に利用いただいています。子どもたちが小山の歴史への興味を広げるきっかけになればと願い、来年度もいろいろな学校にお邪魔する予定です。

「日本人は発明家！」

古今東西、人類の夢を実現し、その発展にとってかけがえのない創造力の成果が発明です。

当館では、月2回「小山市少年少女発明クラブ」の活動を行っています。活動の目的や内容等については前回お話ししました。現在、全国47都道府県に200ヶ所以上の少年少女発明クラブがありますが、栃木県には、なんと小山市少年少女発明クラブだけしかありません。毎年、定員数



あなたの曲 演奏機

以上の応募があり子どもたちの熱い意欲を感じます。施設の広さもあり全員選んでやれないことがとても残念です。毎年開催される栃木県児童生徒発明工夫展においても優秀な成績をあげています。作品展には、クラブ員のアイデアと指導者の支援により66点もの作品を出品することができました。結果、金賞2点、銀賞5点、銅賞6点の計13点が入賞しまし



お助け士のう隊出動

た。現在、科学技術館で行われる全国大会に金賞の2点が出品されています。また県内で3団体のみ選ばれる団体賞を8年連続受賞しています。

さらに今年度は、優良団体として小山市の教育文化功労者表彰においても団体賞をいただきました。発明には、子どもたちにとって「思いやりの心」や「ものを大切に作る心」が大切であると考へ、指導員の先生方と指導にあたっています。写真は全国大会出品作品になります。

さて、発明にはそれにまつわる人々の出来事の様々なエピソードがあります。努力、偶然、幸運、不運など、そこには人間のドラマがあります。

今回は、世界で初めてプロペラ飛行機を設計した『二宮忠八』の話です。忠八は1891年に「カラス型飛行器」というゴム動力によるプロペラ式の模型飛行機を世界で初めて作りました。さらに工夫を重ねて、人を乗せて飛べる「玉虫型飛行器」の設計を完成させました。忠八が設計したものは、後のライト兄弟の飛行機より構造上優れた面もあるといわれています。世界初の有人飛行実験の成功はライト兄弟によって先を越されてしまいましたが、忠八の設計図は10年も前にすでに完成していたのです。ちなみに「飛行器」とは、忠八が自らの「飛行機械」に名付けた名称です。

コラム 博物館職員雑記

チュウヒ

教育担当 森田 貴友

初めて見たのは、博物館出勤初日。小山市立博物館ロビーにて。渡良瀬遊水地の鳥（剥製）が所狭しと展示されていた。猛禽類に多少の興味があったため、どんなのかと眺めていると……、「オオタカ」や「ハヤブサ」といったメジャーどころを押さえ堂々のセンターポジションを飾っているではないか！「誰だ？」「小さいトンビがなぜそこにいる？」これが忘れもしない第一印象。いわゆる「どひゃー効果」一発でインプットされました。調べていくと渡良瀬遊水地のシンボルバードにして絶滅危惧種1B超希少種ではありませんか！英名は「ハリアー」聞いたことあるぞ。お前だったのか！気になったらもうすぐにでも観たい。しかし、彼は冬鳥、もう北に帰っている可能性が……遊水地に行ったときにはすでに遅く全く姿がない……残念。

そういえば「会えない時間が～、愛育てるのさ～」なんて歌があったが、その通り、彼らが戻ってくる冬まで調べましたね。他の鳥と区別するためには他の鳥も調べなければならず、自然と知識も増えていったような気がします。そして年が明け何度目かの遊水地、やっと出会えました。細胞が踊りましたよ。指が震えましたよ。写真プレプレですよ。

こんな場所が身近にあるなんて、ちょっとうれしく誰かに話したくなります。みなさんも博物館で「出会いのきっかけ」を見つけてみてください。



「博物館ボランティア」・ 「天体ボランティア」を紹介します



博物館では2つのボランティア団体が活動しています。

1つは常設展示や館周辺の史跡案内、館主催事業の補助活動を中心に行っている「博物館ボランティア」。もう1つは、移動式天体望遠鏡搭載車「ほっしー★OYAMA号」に関わる天文事業の補助活動を中心に行っている「天体ボランティア」です。どちらも自分のペースで活動に参加していただけます。少しでも興味のある方はまずは見学に来てみてください。随時会員を募集しています。

博物館ボランティア

●会員数：11名(平成31年2月現在)

●主な活動内容：

- ・毎月第1土曜日の定例勉強会
- ・毎週日曜日の常設展示解説
- ・予約団体への展示解説及び周辺史跡案内
- ・ボランティア企画講座「じっくり知ろう小山の歴史」の実施
- ・博物館主催事業への参加や補助活動

●PR：展示解説はちょっと…という人でも、自分ができそうな活動にだけ参加していただけます。歴史に関わる研修旅行なども会員の主催で行っています。



天体ボランティア アストロ小山

●会員数：11名(平成31年2月現在)

●主な活動内容：

- ・博物館主催定例観望会(毎月第2土曜日)の補助活動
- ・団体からの依頼を受けた観望会の補助活動

●PR：観望会のお手伝いが主な活動です。望遠鏡の操作や参加者への簡単な解説をします。専門的な知識はなくても大丈夫！活動をしながらずいづつ覚えていただけます。

会員はみな自分の都合のよい日を選んで活動しています。



寄贈者芳名

次の方から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼を申し上げます(敬称略)

- 毛生川 進(小山市間々田) タブネ 1点、唐箕 1台、カゴ 2点
- 渥美 康弘(小山市栗宮) 地図・古文書類一式、什器一式

発行年月日 平成31年3月15日
 発行 小山市立博物館 (JR宇都宮線間々田駅西口下車徒歩10分)
 〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7
 電話 (0285) 45-5331 FAX (0285) 45-5247
 H P <http://www.city.oyama.tochigi.jp/site/hakubutu/>
 印刷 株式会社ダイサン小山

